

## フロリダ州における小学生向け食育活動強化される

カリフォルニアに次ぐ米国内第2位の青果物生産州であるフロリダで、州政府に先導された小学生向け食育活動が強化されている。同州における食育の基盤はファイブアデイ事業であり、昨年度、一部の小学校でサラダバーを取り入れる試験事業が開始されたのに続き、今年度は、この試験事業を継続すると同時に、州内すべての小学校を対象とする本格的な果実野菜摂取奨励運動が推進される運びとなった。

### 120万人の児童が対象

Fresh 2 U(フレッシュトゥーユー / Fresh to youをもじった)と名付けられた、この新食育事業は、連邦農務省食品栄養局(U. S. Department of Agriculture, Food and Nutrition Service)から支給された\$200,000の補助金をもとに、フロリダ州農業消費者サービス省及び教育省が協同企画したものであり、州内全小学校に在籍する1年生?5年生までの全児童120万人が、その対象となっている。本事業の目標は、果実野菜を豊富に摂取する食習慣を低年齢期に植え付けることにより、近年米国で急増している生活習慣病及び肥満の発生率低減を図ることにある。万病の元となる肥満の発生率は子供人口の間で最も急速に拡大しており、過去20年間に約2倍に増大。現在、米国の子供達の4人に1人が、肥満あるいは過剰体重の範疇に含まれると言われている。

Fresh 2 U事業の第一の特色は、その摂取奨励対象となる品目が、フロリダ州内で生産される主要な生鮮果実野菜に焦点を当てたものとなっていることである。すなわち、青果物全般の摂取奨励を目標とした「1日5サービング以上の果実野菜を食べよう」というファイブアデイのお題目が唱えられてはいるものの、9月から翌年6月までの10登校月間に毎月2品目ずつ、該当月に州内市場に出回る「今月の注目品目」が紹介され、年間で計20品目の青果物の消費が特に奨励されるという筋書きで、子供達の健康推進という究極目標達成と同時に、地元農業の振興をも図れる仕組みとなっている。各月にフィーチャーされる青果品目は、以下のごとくである。

- 9月: マンゴー、カランボラ
- 10月: アボカド、緑色野菜(レタス、ブロッコリー、ほうれん草等)
- 11月: いんげん、きゅうり
- 12月: トマト、タンゼリン
- 1月: オレンジ、スクワッシュ
- 2月: キャベツ、グレープフルーツ
- 3月: にんじん、いちご
- 4月: セルリー、ピーマン
- 5月: ブルーベリー、スイートコーン
- 6月: すいか、キャンタロープメロン

### レポートカード、ミュージックビデオ等を駆使した多面的展開

Fresh 2 U事業推進の鍵となっているのは、全対象児童に配付されるレポートカードである。このカードは学校及び家庭双方での使用を目的とした個人の成績表であり、暴食及び栄養価の低い食品の摂取を控え、果実野菜を豊富に摂取することの重要性を学んだ子供達が、毎日、青果物を1サービング食べる度に所定欄にマークをつけ、これを週ごと、月ごと、学期ごと、あるいは年度末に集計して、目標値を達成した生徒を表彰するという手法がとられている。

子供達への情報伝達的手段としては、教師用、生徒用の各種ハードコピー資料、ポスター等に加え、軽快な音楽とダンスを取りこんだミュージックビデオも多数作成されて各校に無料配付されている。「果実野菜を豊富に食べることは、健康増進に役立つのみならず、クールでカッコイイ」というメッセージを伝達することが、子供達に容易に受け入れられるミュージックビデオを取り入れたことの主要な背景である。また各校の給食調理スタッフには、果実野菜、特に毎月のフィーチャー品目をたっぷり盛り込んだ各種レシピ、子供に喜ばれる料理の演出の仕方、例えばハロウィーン、感謝祭等の祝日のテーマを盛り込んだ楽しい給食プラン等を紹介するガイドブックが配付されている。